

本年度の重点目標

- ・一人ひとりを大切にし、基礎・基本の徹底を目指す。
- ・より高いレベルで、目標の達成を目指す。
- ・活気ある高校生活の創造を目指す。

領域	重点評価項目	中間評価(10月)	総合評価(3月)	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1 学校経営	校長は自らの教育理念に基づいてリーダーシップを発揮している。	B	B	B
	課や学年など分掌間の連携が円滑に行われている。	B	B	B
2 学習指導	授業時間を最大限確保し、計画的な授業を実践することにより学力の定着を図っている。	A	A	A
	学習意欲向上やわかる授業実践に向けての研究と改善に取り組んでいる。	A	A	A
3 生徒指導	自律的に時間を守る習慣を育成し、始業前時差登校の定着を図っている。	A	A	A
	交通マナーの向上を図り、通学の安全を確保している。	B	A	A
4 進路指導	生徒の学力を高め、生徒一人ひとりの力に応じた進路指導を行っている。	A	A	A
	生徒との面談を重視し、生徒の志望を高次元で実現できるよう努めている。	A	A	A
5 特別活動等	学園祭をより生徒の満足度の高い行事として作り上げている。	B	A	A
	生徒会各種委員会の活性化を図り、自主活動を活発にしている。	B	B	B
6 学校図書館	図書館が生徒にとって親しみやすく利用しやすい場となるよう努力している。	A	A	A
	教科や「総合的な学習の時間」を支援できるように環境を整えている。	A	A	A
7 保健・安全指導	生徒自身の健康に対する自己管理能力を向上させ、心身ともに健康な生徒の育成に努めている。	A	A	A
	担任やカウンセラーと連携し、不安を感じている生徒の早期発見・早期指導に努めている。	A	A	A
8 人権教育	体験的な学習と結びついた人権教育を推進している。	B	B	B
	生徒会活動や「総合的な学習の時間」において、共同作業の機会の設定に努めている。	B	B	B
9 環境教育	整理整頓や掃除を行き届かせ、校内美化を推進している。	B	B	B
	環境こだわり日誌を活用し、日常的に省エネなどの環境意識を高めることに努めている。	B	B	B
10 事務・管理	施設・設備の安全点検に適切に対処できている。	B	A	A
	文書管理が適切に行われている。	A	A	A
11 その他 学校の取り組み	学校生活についての情報を生徒・保護者に提供し、常に連携を図っている。	B	B	B
	アクティブハイスクール支援事業をより活用し、学級文庫の充実及び学力向上に努めている。	B	B	B

(注)・評価表の見方： 6月 学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表

10月 中間評価(自己評価)の公表(8月までの教育活動に対する中間評価)A B C Dの4段階評価で示す。

3月 総合評価(自己評価・学校関係者評価)の公表(年間の教育活動に対する総合評価)A B C Dの4段階で示す。

・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。

・A B C Dの基準は、肯定的な評価が75%以上をA、50%以上75%までをB、25%以上50%までをC、25%未満をDとする。

学校のURL : <http://www.e-minakuchi-h.shiga-ec.ed.jp>